TIMEX
http://www.timexwatch.jp

W-1

Cal.901 Cal.903 Cal.904 Cal.905
Cal.916 Cal.953 Cal.955 Cal.956
Cal.960

取扱説明書
Instruction Book
ANALOG アナログタイプ(針式)総合取扱説明書

アナログタイプ(針式)取扱説明書

この度はTIMEXウォッチをお買い上げいただき有難うございます。
TIMEXウォッチの機能をご理解いただき、製品を正しくご使用いただくため、取扱説明書はよくお読み下さい。また、取扱説明書はお手元に保管していただき、必要に応じて、ご参照下さいますよう、お願い致します。

1. 時計の始動

・時計を始動させるには、リュウズ（時刻合わせ用のつまみ）をケース側に押し込んで下さい。
・リュウズとケースの隙間にプラスチックのストッパーが付いている場合は、ストッパーを取り外してから操作を行って下さい。

一部のアナログモデルには、駆動ユニットの構造上、作動中の秒針の刻みにバラツキの出ることがありますが、時計精度には影響致しません。

2. 時刻設定方法

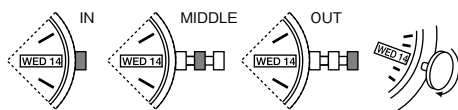
1.リュウズを2段目位置まで（1段目までしか引き出せない場合は1段目位置まで）引き出します。
2.リュウズを回して針を設定します。
3.リュウズをケース側に押し込みます。

3. カレンダーの設定

カレンダー機能が装備されているモデルに限ります。
モデルにより設定方法が異なりますので、該当する項目をご参照下さい。

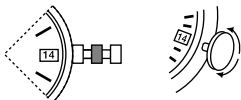
日付・曜日の表示機能を備えたモデル

・リュウズが2段階に引き出せます。
・曜日を設定するには、リュウズを2段目まで引き出して、針を24時間分進めると曜日が1日ずつ変わります。
・日付を設定するには、リュウズを1段目まで引き出して、リュウズを回すと設定出来ます。

時計の設定時刻が午後10時から午前2時の区間は、「カレンダーの早送り禁止区間」です。誤作動や故障の原因となる恐れがありますので、カレンダー設定を行わないで下さい。

日付の表示機能を備えたモデル

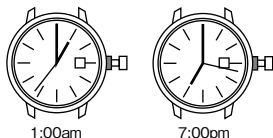
リュウズが2段引けるタイプ

・1段目位置までリュウズを引き出し、リュウズを回してカレンダーを設定します。
・2段目位置までリュウズを引き出し、リュウズを回して時間を設定します。

時計の設定時刻が午後10時から午前2時の区間は「カレンダーの早送り禁止区間」です。誤作動や故障の原因となる恐れがありますので、カレンダー設定を行わないで下さい。

リュウズが1段だけ引けるタイプ

・リュウズを引き、針を回してカレンダーを設定します。
・7時位置から1時位置の間に針を進めたり、戻したりしてカレンダーを送り設定します。

カレンダーが送らない場合は、午後の12時時位置になっている恐れがありますので、12時間分、針を進めて午前12時位置にしてから、再度設定して下さい。

1:00am
7:00pm

4. INDIGLO インディグロ・ナイトライト

文字盤・ケースなどにINDIGLO（インディグロ）の表示のある機種は、リュウズもしくはボタンを押すと、文字盤が点灯します。
INDIGLO ナイトライトに使用されているエレクトロルミネッセンス技術（米国特許）が文字盤を明るくし、暗いところや夜間でもはっきり見える構造にしています。

一部のモデルには、文字盤の縁のところが影のようになって発光しない箇所があるモデルがありますが、文字盤に電流を通電させる為に必要な部品が文字盤の縁に装備されている為のものであり、故障ではありません。

5. 防水および耐衝撃性

注意

・お買い上げの腕時計に200m防水と表示されていても、防水性を維持するために、水中ではボタンを押したり、リュウズを引き出したりしないで下さい。

ケースもしくはウラブタに防水表示のあるモデルに限ります。
防水表示をご確認の上、使用可能範囲に従って正しくご使用下さい。

表示のないモデルは、非防水性です。
メートル表示がなく「Water Resistance」のみの表示の場合は、「30M・3気圧」に相当します。

非防水性 汗などでもケース内に浸水しますので、取扱いには十分な注意が必要です。
30M・3気圧 → 日常生活防水 水中でのご使用は不可能です。雨・手洗いの際の水しぶきに耐えうる程度の防水性です。
50M・5気圧 → 日常生活防水 水中でのご使用は不可能です。水仕事に耐えうる程度の防水性です。
100M・10気圧 → 日常生活強化防水 水泳程度のご使用は可能です。
200M・20気圧 → 日常生活強化防水 水中でのご使用は可能です。但し、飽和潜水・空気潜水にはご使用出来ません。

6. 防水機能についてのお願いとご注意

1.腕時計の防水性は風防ガラス、リュウズ、ケースが無傷である場合に限り維持されます。
2.ねじ込み式リュウズの場合、防水性を保つためケースにしっかりねじ込んで下さい。（「時刻の設定」の項参照）
3.腕時計に塩水がかかった場合は真水ですすいで下さい。
4.耐衝撃性の表記は時計の文字盤または裏面に表示されています。耐衝撃性の時計はISO（国際標準化機構）の耐衝撃性試験に合格する設計ですが、クリスタル/レンズを傷つけないよう、ご注意下さい。
5.防水機能表示をご確認の上、使用可能範囲に添って正しくご使用下さい。
6.水中や水分が付着したままの状態ではケース内に浸水する恐れがありますので、リュウズ・プッシュボタンなどを作動させないで下さい。
7.防水機能は永久的に継続するものではありません。外装部品やパッキング類の劣化・老朽に伴って機能低下します。
8.時計に汚れなどが付着していると防水機能の妨げとなりますので、清潔にしてご使用下さい。
9.水に関するスポーツなどでご使用の際、瞬間的に耐圧限界を超える衝撃が加わった場合には浸水する恐れがあります。
10.本格的なダイバー向けの防水時計ではございませんので、ダイビングにはご使用にならないで下さい。
11.防水時計であっても入浴中のご使用はお避け下さい。
12.シャワーや蛇口のからの水圧は、高水圧の恐れがありますのでお避け下さい。
13.防水機能を超えたご使用による故障の場合は、特別な場合を除き有償修理対応となります。

7. 電池寿命

モデルによって電池寿命が異なります。
セットされている電池番号は、ウラブタに刻印されています。
電池寿命は、新しい電池をセットしてからの持続年数です。
電池寿命は、1日1回10秒のアラームと、1日1回1秒のINDIGLOナイトライトを使用した場合を目安としたものです。（尚、INDIGLOナイトライト、ナイトモードを多く使用しますと、その分電池寿命は短くなります。）
電池番号末尾のCELLは、電池を意味しています。

電池番号	電池寿命
CR2016（アナログ）	6 年
CR2016（デジタル）	3 年
CR2025 CR2032 CR1620 CR1216	2 年

時計精度に遅れが生じたり、INDIGLOナイトライトが暗くなった場合は、電池交換を必要としている可能性がありますので、弊社に電池交換をご依頼下さい。

8. 電池についてのお願いとご注意

電池について

・時計をお買い求めいただいた際に組み込まれている電池は、機能・性能を見るためのモニター用です。電池寿命に満たない場合もございますので、予めご了承下さい。
・電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、液漏れなどによる故障の原因となりますので、お早めに交換をして下さい。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

警告

・破損の恐れがありますので、お客様ご自身で電池を時計から取り外さないで下さい。
・やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はお子様の手の届かないところに保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は、身体に害を及ぼす可能性がありますので、直ちに医師にご相談下さい。

注意

・破損・発熱・発火などの恐れがありますので、電池を分解、ショート、加熱、火に入れるなどの危険行為をしないで下さい。
・ご使用の電池は充電式ではありません。液漏れや破損を生じる恐れがありますので、絶対に充電はしないで下さい。
・常温（5℃〜35℃）からはずれた温度環境下に長時間放置すると、電池寿命が短くなったり、液漏れを生じることがあります。

9. 時計の精度

TIMEX社の規格では、クォーツウォッチは月差±15秒以内、メカニカルウォッチ（機械式）は日差±30秒で調整されています。ただし、ご使用の条件により変化することもありますので、予めご了承下さい。

10. ベゼルリング

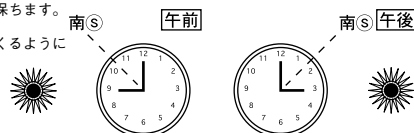
ベゼルリング機能（回転式）が装備されているモデルに限ります。モデルにより使用方法が異なりますので、該当する項目をご参照下さい。

経過ベゼル(10〜50などの数字目盛りの付いたベゼル)

簡単な経過時間を知るためのリングです。

(例) 10時15分から会議を始めたいとします。あらかじめリングの▼位置を、10時15分の位置に回しておきます。会議の進行と共に長針が示す経過リングの目盛を読むことによって、何分経過しているか簡単に知ることができます。

方位ベゼル(N.E.W.S.の表示が付いたベゼル)

腕時計を日時計として活用した場合の補助リングです。
1.時計を平らな表面に置くか、地面と平行に保ちます。
2. 時針 を太陽の方向に向けます。
3.S(south)の位置が 時針 と 12時 の中間にくるようにリングを回します。

上記該当しない記載表示のあるベゼルは、時計のデザイン的なものであり、機能的・実用的にはご利用いただけないモデルですので、ご了承下さい。

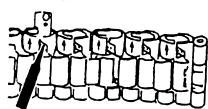
11. ブレスレット／ストラップの調整

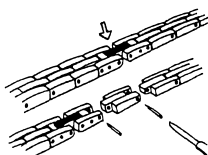
時計バンドがブレスレット（金属製）モデルに限ります。
モデルにより調整方法が異なりますので、該当する項目をご参照下さい。
該当以外のモデルや該当のモデルでも調整には工具や技術を必要としますので、作業が困難な場合は弊社宛に調整をご依頼下さいますようお願い致します。

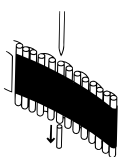
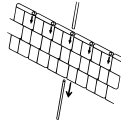
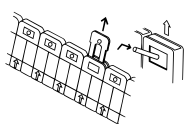
スライド式留め金タイプ

スライド式留め金ブレスレット
ロックプレートを開けます。ブレスレットが目的の長さになるよう留め金を動かします。ロックプレートに圧力をかけて押さえながら留め金を前後にずらし、ブレスレットの裏側の溝に収まるようにします。ロックプレートをパチッと音がするまで押して閉じます。留め金に力をかけすぎると傷むことがありますので注意して下さい。

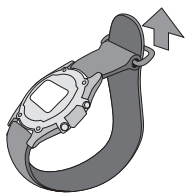
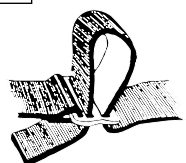
折り重ね式留め金タイプ

折り重ね式留め金ブレスレット
ブレスレットと留め金をつないでいるスプリング棒を見つけ出します。先の尖った道具を使って、スプリング棒を押し込み、ブレスレットをそっとねじって外します。手首に合わせて長さを決めたら、目的位置の下穴にスプリング棒を入れます。スプリング棒を押し下げて上穴に当ててから離し、定位置にロックします。

ソリッドリンク式タイプ

ソリッドリンク式ブレスレット
リンク取り外し：ごく細いドライバーを使い、ネジを左回りに回して外します。繰り返して、必要な数だけリンクを取り外します。留め金の近くのリンクは外さないで下さい。
接続：継ぎ直す端を組み合わせ、ネジを取り外した側からネジを入れて戻します。側面が平らになるまで、ネジを右回りに回してしっかり締めます。

ステンレスとウレタンのジョイントタイプ

金属部分のパイプ内のピンを叩いて取り外す駒数のみピンを抜いて、つなぎます。

その他のタイプ

丸凹み部分を押しながら上方に抜く

矢印の方向にピンを叩いて抜く

ベルクロ ストラップ

伸縮 ストラップ

12. ご使用上の注意とお手入れ方法

日常のお手入れ

・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビや腐食で衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となることがありますので、常に清潔にしてご使用下さい。
・時計を外した時は、柔らかい布などで汗や水分を拭き取るだけでケース・バンド・パッキンの寿命が違います。
・皮バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽く拭いて下さい。擦るように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。
・皮バンドは素材の性質上、色落ちする場合があります。特に水や汗などで濡れると色落ちしやすくなります。衣類・持ち物・肌などに色落ちが付着した場合は、直ちに時計・バンドを取り外して良く拭き取って下さい。
・金属バンドは、柔らかい歯ブラシなどを使い、金属バンドのみを水で洗って下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗浄して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意下さい。
・ウレタン・プラスチックバンドは、特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどい場合は水で洗浄して下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗浄して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意下さい。通常のご使用でも素材の性質上、硬化・変色する場合があります。
・非防水時計は、湿度のあるところや汗などにご注意下さい。万一、濡れた場合は、直ちに吸湿性のよい布などで水分を吸い取って下さい。
・日常生活強化防水時計（10気圧・20気圧）を海水などでご使用になった場合は、洗剤や薬品などは使用せずに、水を使用して水分や汚れを拭き取って下さい。
・回転式ベゼル・リュウズ・プッシュボタン類は、汚れが付着していると機能の妨げとなりますので、清潔にしてご使用下さい。
・時計・バンドに科学薬品・ガスなどが付着すると、変形・変色・破裂する場合もありますので、絶対に付着させないで下さい。

かぶれやアレルギーについて

・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用下さい。
・かぶれやすい体質の方や体調によっては、皮膚に異常がある場合があります。
・腐食・汚れ・汗などが、皮膚の異常を引き起こす原因となる場合がありますので、時計は清潔にしてご使用下さい。万一、皮膚などに異常を生じた場合は、直ちにご使用を中止して医師にご相談下さい。

保管について

・「0℃～50℃」からはずれた温度では、機能が低下したり、停止したりする場合があります。
・磁気や静電気の影響があるところに放置しないで下さい。
・極端にホコリの多いところに放置しないで下さい。
・強い振動のあるところに放置しないで下さい。
・薬品にふれるところに放置しないで下さい。
・温泉や防虫剤の入った引き出しなど特殊なところに放置しないで下さい。

13. 時計外装部品の損傷・破損について

・時計外装部品の損傷・破損は、保証期間内に於いても特別な場合を除き有償修理対応となります。又、損傷・破損が原因であっても、紛失された場合は保証の範囲ではありません。
・回転ベゼルリング・リュウズ・ボタン・ハンドバックル等の可動部分の損傷・破損は保証の範囲ではありません。
・ご購入頂いてから間もない商品以外の時計のナイロンバンド・皮バンドの裁縫のほつれは、特別な場合を除き有償修理応対となります。

14. アフターサービス

修理を依頼される場合

時計の不具合及び修理は、不具合箇所を明記していただき下記宛にご郵送下さい。
弊社発行の保証書を必ずご同封下さい。添付のない場合は、保証期間内に於いても有償対応となりますので予めご了承下さい。

予めご了承いただきたいこと

消耗部品は経時変化しますので、必要に応じて点検及び部品交換をお申し付け下さい。
修理の際、「代替部品」を使用させていただく場合や、修理が困難な場合は「同等品との交換対応」とさせていただく場合があります。
特別注文された製品の修理では、純正部品での対応となる場合があります。
日本国内未入荷モデルは、修理対応が「不可能」な場合や「同等品との交換対応」とさせていただく場合があります。

日本総代理店
DKSHジャパン株式会社　カジュアル・ライフスタイル
〒108−8360　東京都港区三田3丁目4番19 DKSH三田ビルディング
TEL：03(5441)4515　FAX：03(5441)4522
URL：http://www.timexwatch.jp